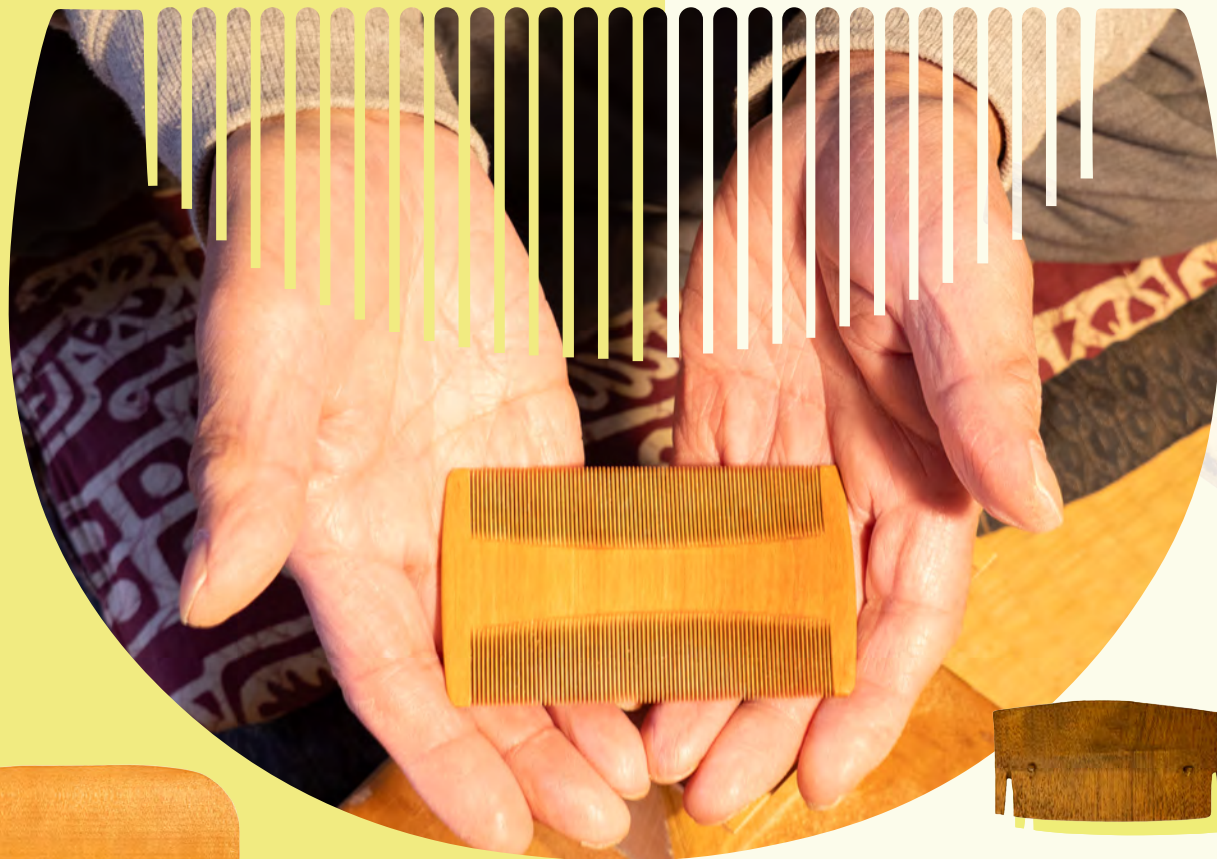
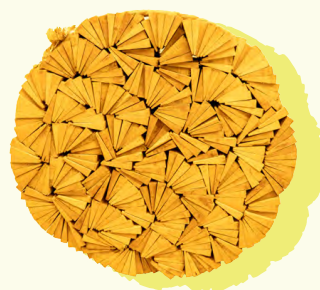


今日も、職人たちは櫛を挽く
―手のひらに広がる、木の物語と伝統の技―



企画展

木曽の お六櫛展



2026 7/20 MON
→ 12/25 FRI

〔開館時間〕9:00～16:00

〔休館日〕毎週月曜日 ○月曜日が祝祭日にあたる場合は火曜休館

〔観覧料〕大人 300 円、小人 100 円（中学生以下）

/ 団体割引：200 円（30 人以上）

〔主催〕木祖村教育委員会事務局・木祖村公民館

〔協力〕安城市教育委員会、木祖村お六櫛組合、群馬県大泉町教育委員会、群馬県埋蔵文化財調査事業団、群馬県立歴史博物館、栃木県小山市教育委員会、鳥取県立青谷かみじち史跡公園、宮崎県立西都原考古博物館

木曽川源流の里・木祖村郷土館

〒399-6201 長野県木曽郡木祖村薮原 196 Tel.0264-36-3348

令和 8 年度長野県地域発元気づくり支援金活用事業

展示内容一部ご紹介

お六櫛に代表される木曽の木櫛は、豊かな森林資源にめぐまれた木曽谷で、木材加工業のひとつとして発展しました。古くから長野県伊那の清内路（現阿智村）から蘭村（現南木曽町）にかけて木櫛の生産がおこなわれ、その製作技術は木曽谷へとひろがり、江戸時代の宿村経済にとって大きな支えとなりました。

製造競争や近代化につれ櫛屋の看板は各地から姿を消していきましたが木曽郡木祖村では現在もお六櫛の製作技術を受け継ぎ職人が櫛を挽いています。

令和8年（2026）には「木曽のお六櫛製作技術」が国選択無形民俗文化財（記録作成等の処置を講ずべき無形の民俗文化財）となりました。地域性や製作技術の重要性が評価される一方で、量産品や整髪剤の普及によって需要が減り、技術伝承の変容や消滅のおそれが高まっています。

本展示ではお六櫛の製作技術を中心に櫛の歴史、製作道具に触れながら、お六櫛にかかわる資料を紹介します。



櫛の歴史をパネルで紹介
写真＝刻歯式縦櫛（青谷上寺地遺跡）



櫛をつくるための道具



お六櫛はどうやってつくるの？
（製作工程の紹介）



さまざまな木櫛とお六櫛

関連イベント

●お六櫛みがき体験ワークショップ

好きな形の櫛を一つ選び、専用の道具を使って自分で櫛をみがくワークショップです。職人のアドバイスを受けながら、貝や骨を使って昔の櫛のみがき方を体験できます。みがいた櫛はお持ち帰りいただけます。

開催日：8月9日（日）、8月16日（日）、9月20日（日）、10月25日（日）、11月22日（日）

時間：①13：00～14：30 ②15：00～16：30

会場：木祖村郷土館展示フロア 参加費：無料 定員：各回5名

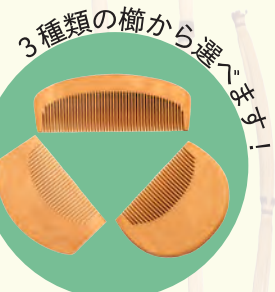
予約方法：電話（0264-36-3348）またはQRコードからの事前申込み

*定員に達し次第、予告なく予約を締め切らせていただきます場合があります。

イベントに関する詳細はHPをご確認ください。



申込み QR コード



●お六櫛だれでも挽き体験！（櫛挽き体験コーナー）

体験日に職人が櫛の挽き方をレクチャーしながら、お六櫛の歯を鋸で挽く体験ができます。お気軽にご参加ください。

開催日：8月9日（日）、8月16日（日）、9月21日（月）、10月17日（土）、11月15日（日）

時間：10：00～12：00 場所：木祖村郷土館展示フロア

参加費：無料 受付：予約不要、当日受付にお声がけください

●劇団ひのき公演「櫛」

木曽郡木祖村で活動する劇団ひのきの演目「櫛」を上演します。

開催日：11月29日（日） 時間：12：30客席会場、13：00開演

場所：木祖村民センターホール 料金：無料 受付：予約不要

企画展およびイベントの詳細はHPをご確認ください。https://www.vill.kiso.nagano.jp/kosodate_kyoiku/kyodokan/index.html

